

【2022 年度 第 3 回テーマ展示】

「THE KEIRIN」

＜事業 完了報告書＞

自転車文化センター主催 2022 年度 第 3 回テーマ展示 「THE KEIRIN」 (2022 年 12 月 14 日～ 2023 年 3 月 31 日)
貴センター「ギャラリー」および「ライブラリー」にて開催の展示制作（一式）業務を完了いたしました。

来館者数 453 人



この事業は、競輪の補助を受けて実施いたしました。

<https://jka-cycle.jp>

2023年3月31日
一般財団法人 日本自転車普及協会

【ギャラリー展示制作】

●ギャラリー・ウィンドウ



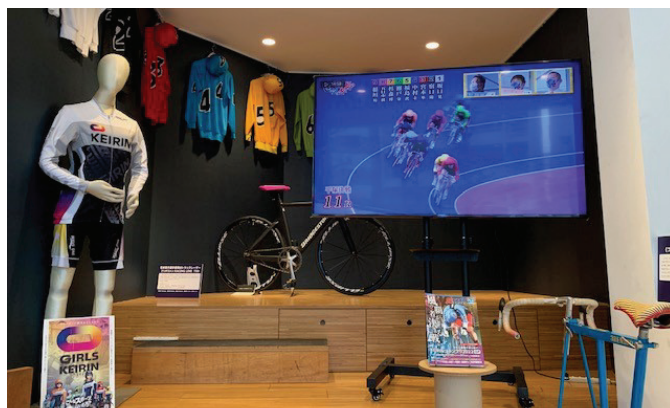
●ギャラリー・フレーム展示



●ギャラリー・車両展示



●ギャラリー・ユニフォーム展示、競輪映像の放映



●ギャラリー・VR ケイリンシミュレーター体験



協力：株式会社車両スポーツ映像 SPEED チャンネル

【ショーウィンドウ・展示制作】

●ショーウィンドウ・バナー展示



●ショーウィンドウ・車両展示



●ショーウィンドウ・パネル展示

STRATOS (ストラトス)

2005年3月21日に開催された日本選手権競輪（船戸ダービー）にて鈴木誠選手歴年の優勝を果たした実車です。このフレームには、発見までのエピソードがあります。鈴木誠選手が日本選手権優勝後も継続して使用していましたが、「盗難」によりトップチューブに大きな凹みが出た事で役目を終え、サイクルワークスムラヤマの倉庫で眠っていた物です。工房には、その他多数の選手のフレームが保存されている為、区別がつかなくなっていました。鈴木誠選手のフレームには、必ず左のシートステータイプに漢字で「鈴木誠」のネーム彫刻が入っているのですが、このフレームを製作する時点でネーム彫刻が間に合わず、右側と同じもので製作されています。ネーム彫刻の入っていないフレームは1台だけしかありません。このフレームを見つけるために、フレームの特徴を写真で確認していたところ、優勝時にバンク内側から撮られた写真に行き着きました。ゴール時の写真を拡大し確認したところ、左シートステータイプにネーム彫刻が無く、このフレームである事が判明しました。トップチューブは差し替えし、再塗装により当時の姿に復元されています。

●全長 1630mm ●全幅 410mm ●全高 980mm

ブレット号 (Bullet)

この自転車は、競輪創成期の1951年（昭和26年）に開催された、一宮競輪場開場1周年記念競走優勝や1952年（昭和27年）福岡競輪場で開催された第3回全国都道府県選抜競輪男子1000m競争で優勝し、「弾丸飛板」の愛称で活躍した熊坂克己選手が、引退後にフレームビルダーとして製作したフレームを使用した自転車です。ハンドルの前に愛称である「弾丸の印」のプレートと車名の「Bullet」が書かれています。この自転車は、同じ頃に活躍していた若岩輝雄選手が使用していたフレームを基に復元したものです。

●全長 1680mm ●全幅 380mm ●全高 890mm

【ライブラリー展示制作】

●ライブラリー・車両展示・パネル展示



●ライブラリー・各競輪場プライベートカード展示・パネル展示



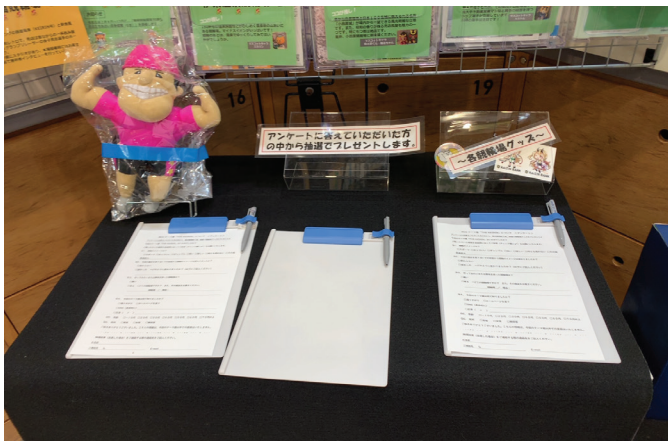
●ライブラリー・車両展示・パネル展示



●ライブラリー・パネル展示



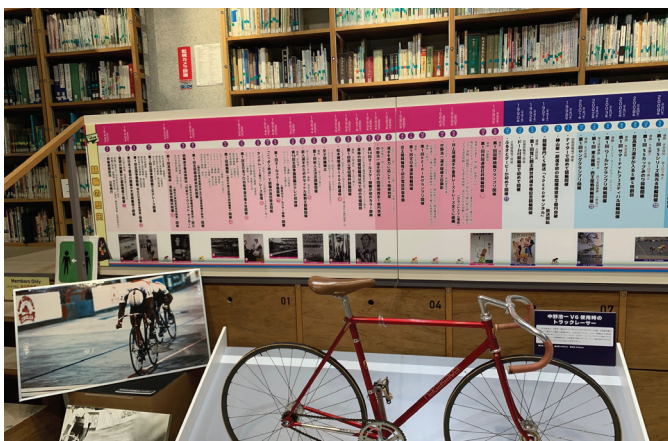
●ライブラリー・アンケート



●ライブラリー・全国競輪場マスコット展示



●ライブラリー・年表パネル展示



●ライブラリー・フレーム展示



【入口パネル】

●ギャラリー入口 ●サイズ：A2 サイズ



令和4年12月14日～令和5年3月31日(予定)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始
 【入館料】無料(一部を除く所蔵図書の見覧は、友の会会員登録(入会費500円)が必要となります。)
 ※当センターでは、台風や大雪など天候の状況に加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開館時間が変更になる場合があります。最新情報は、当センターホームページをご確認ください。

多くの自転車利用者にとっては、通勤・通学・買物といった日常生活利用を中心とした軽快自転車が主流であるが、世界には面白い自転車や高度な技術を持ったアスリートが乗る競技用自転車など、普段目にする事のない自転車が多数あります。今回は、日本が生んだ世界のスポーツである「競輪」をテーマとした展示を行います。様々な角度から競輪を掘り下げることで、その魅力を紹介します。

資料提供：公益財団法人JKA / 映像提供：株式会社車測スポーツ映像 SPEEDチャンネル / 競輪VR協力：みずほろうサイエンスプロダクション

- ・全国にある「競輪場」に焦点を当て、各競輪場のマスコットや「押し」ポイントを紹介します。
- ・競輪のスピード感や選手の意外な一面を見ることが出来る映像を放映いたします。
- ・リアルな競輪世界をVRを用いて体感できる競輪VRシミュレーターを体験いただけます。
- ・当センターが所有する競輪に関する貴重な資料や、競輪トップ選手の自転車やウェア等を展示いたします。
- ・競輪の歴史を振り返る年表を展示いたします。

競輪の補助事業 この事業は、競輪の補助を受けて実施いたします。
<https://jka-cycle.jp>



令和4年12月14日～令和5年3月31日(予定)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始
 【入館料】無料(一部を除く所蔵図書の見覧は、友の会会員登録(入会費500円)が必要となります。)
 ※当センターでは、台風や大雪など天候の状況に加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開館時間が変更になる場合があります。最新情報は、当センターホームページをご確認ください。

多くの自転車利用者にとっては、通勤・通学・買物といった日常生活利用を中心とした軽快自転車が主流であるが、世界には面白い自転車や高度な技術を持ったアスリートが乗る競技用自転車など、普段目にする事のない自転車が多数あります。今回は、日本が生んだ世界のスポーツである「競輪」をテーマとした展示を行います。様々な角度から競輪を掘り下げることで、その魅力を紹介します。

資料提供：公益財団法人JKA / 映像提供：株式会社車測スポーツ映像 SPEEDチャンネル / 競輪VR協力：みずほろうサイエンスプロダクション

- ・全国にある「競輪場」に焦点を当て、各競輪場のマスコットや「押し」ポイントを紹介します。
- ・競輪のスピード感や選手の意外な一面を見ることが出来る映像を放映いたします。
- ・リアルな競輪世界をVRを用いて体感できる競輪VRシミュレーターを体験いただけます。
- ・当センターが所有する競輪に関する貴重な資料や、競輪トップ選手の自転車やウェア等を展示いたします。
- ・競輪の歴史を振り返る年表を展示いたします。

競輪の補助事業 この事業は、競輪の補助を受けて実施いたします。
<https://jka-cycle.jp>

【競輪補助事業サイン】

●競輪補助事業掲示パネル



競輪の補助事業 この事業は、競輪の補助を受けて実施いたします。
<https://jka-cycle.jp>



KEIRIN

この展示は、競輪の補助を受けています。

競輪の補助事業 この事業は、競輪の補助を受けて実施いたします。
<https://jka-cycle.jp>